

働く力と生活体験

今、若者に求められている働く力とは何か

セミナーでは、雇用環境や経済社会の変動、若者の就業意識の現状をふまえ、働く力として何が若者に求められているのか、働く力を教育の場でどう身につけさせていくのかを議論します。

現在、国際的な経済競争の中で、終身雇用・年功賃金をはじめとする日本的雇用が崩壊し、安定した雇用環境は失われつつあります。そして、企業に人を育てるゆとりがなくなったことから、「学校では知識や体力をつけて、専門的な知識や技術は職場が育てる」かつての教育・雇用の役割分担ができなくなり、学校に即戦力を求める声が強まっています。

他方、ニート・フリーター・引きこもりが15～30歳人口の1割近くになり、また中学卒7割/高校卒5割/大卒3割の若者が3年以内に離職する状況も生まれています。ストレス・給与・職場の人間関係が離職の大きな要因であり、辛抱して勉強する・働くことでは報われにくいと若者は感じています。

雇用環境や経済社会および若者の就業意識の動向に対して、学校教育にも変化がみられます。大学における文部科学省の「学士力」、あるいは経済産業省の「社会人基礎力」が、その代表的なものです。かつての命題知の学習を中心とした教育ではなく、それに加えて実践あるいは経験的な知を学ぶことができる教育が大学に求められてきています。

そこで、セミナーでは、大分大学の体験型カリキュラムの創設について報告を受け、これをもとに若者に求められている働く力とは何か、働く力をどう身につけていくのかについて「徹底的に」議論したいと思います。

議論を中心としたセミナーにしたいと思います。たくさんのご参加をお待ちしています！

■日時 2013年9月1日(日) 13:00～16:00

■場所 別府大学 34号館 1階115教室

〒874-8501 大分県別府市北石垣82

電話 090-3985-1315 (長尾)

■参加費 無料

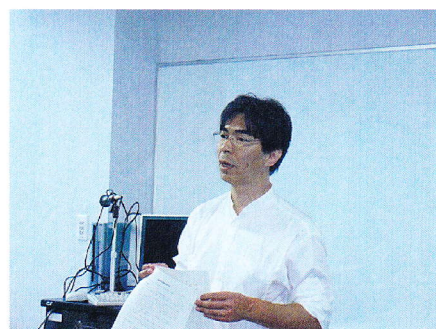
<事例報告>

市原 宏一 氏 (大分大学)

<司会>

山崎 清男 氏 (大分大学)

裏面の申し込み用紙にご記入の上、**8月23日(金)**迄に、**FAXまたはメール**でお申し込みください。



主催：日本生活体験学習学会 後援：別府大学文学部人間関係学科

◆参加申込書◆

FAX番号：0977-66-0906

メール：nagao@nm.beppu-u.ac.jp

「地方セミナーin おおいた」への参加をご希望される方は、必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みくださいますよう、お願い申し上げます。

(ふりがな) 名 前		所 属	
住 所	〒		電話番号
(ふりがな) 名 前		所 属	
住 所	〒		電話番号

■ お問い合わせ先

<開催会場> 別府大学

〒874-8501 大分県別府市北石垣82 電話 090-3985-1315 (長尾)

メール nagao@nm.beppu-u.ac.jp